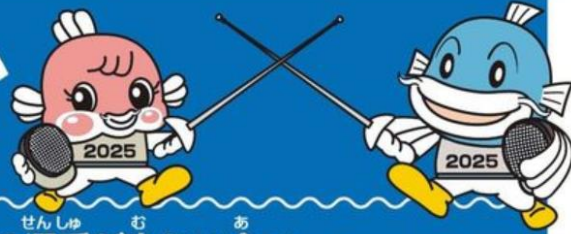


フェンシング



よ ほそなが どうでん せい うえ リ せんしゅ む あ
ピストと呼ばれる細長い導電性のコートの上で2人の選手が向かい合い、
かた て も けん たが ゆうこう めん とくてん はん い こうぼう きょうぎ
片手に持った剣で互いの有効面(得点になる範囲)を攻防する競技です。

日程・会場 ● 9月29日(月)～10月2日(木)
ウカルちゃんアリーナ

プログラム詳細は
p. 3～ 参照！

一般観覧 (可) 事前予約不要／入場無料／入場整理券なし

インターネット **LIVE配信・見逃し配信** も無料！(主に決勝戦)

- ・競技中のフラッシュ撮影は禁止です。
- ・サーブルについては、審判の合図(「アレ」という掛け声)とともに一瞬で攻撃を仕掛けるため、開始時は静かに見守ってください。

競技紹介

■ 突きだけを用い有効面が胴体だけの「フルーレ」、全身すべてが有効面の「エペ」、馬上の剣術から競技化し、有効面が腰から上の部分で突きと斬りで攻撃する「サーブル」の三種目があります。

■ 張り詰めた空気の中繰り広げられる繊細なテクニック、スピーディーかつダイナミックな動きがポイントです。

競技のルールや見どころは **p. 4～** 参照！



滋賀県選手団

no	競技	種別	種目	役職	氏 名	勤務先・学校名・所属等	学年等	現 住 所
1	フェンシング	成年男子	フルーレ・サーブル	監督兼選手	江村 凌平	オリエンタル酵母工業株式会社		大 津 市
2	フェンシング	成年男子	フルーレ・サーブル	選手	加藤 響	オリエンタル酵母工業株式会社		草 津 市
3	フェンシング	成年男子	フルーレ・サーブル	選手	中力 亮	公益財団法人滋賀県スポーツ協会		大 津 市
4	フェンシング	成年女子	フルーレ・エペ	監督兼選手	中村 優里	公益財団法人滋賀県スポーツ協会		大 津 市
5	フェンシング	成年女子	フルーレ・エペ	選手	稲山 友梨	公益財団法人滋賀県スポーツ協会		大 津 市
6	フェンシング	成年女子	フルーレ・エペ	選手	吉村 美穂	株式会社アイヴァン		東 京 都 北 区
7	フェンシング	少年男子	フルーレ	監督	畑中 文明	社会福祉法人びわこ学園		草 津 市
8	フェンシング	少年男子	フルーレ	選手	加納 佑真	滋賀県立玉川高等学校	2年	草 津 市
9	フェンシング	少年男子	フルーレ	選手	山本 篤治	滋賀県立玉川高等学校	2年	栗 東 市
10	フェンシング	少年男子	フルーレ	選手	小野 一真	滋賀県立石山高等学校	2年	大 津 市
11	フェンシング	少年女子	フルーレ	監督	矢幡 侑菜	滋賀県立石山高等学校	教員	大 津 市
12	フェンシング	少年女子	フルーレ	選手	畑中 七葉	滋賀県立石山高等学校	2年	草 津 市
13	フェンシング	少年女子	フルーレ	選手	上品 かのこ	滋賀県立玉川高等学校	3年	守 山 市
14	フェンシング	少年女子	フルーレ	選手	南原 莉緒	滋賀県立石山高等学校	2年	草 津 市

見どころ

- スピードと頭脳戦が魅力のフェンシング。瞬時の駆け引きと鋭い剣さばき、わずかな隙を突く攻防に注目です。華麗なフットワークと一瞬の判断が勝敗を分ける、緊張感あふれる戦いをぜひご覧ください。
- ＜滋賀県選手団＞
成年女子の吉村美穂選手はパリ五輪代表（女子エペ個人）のオリンピック。杭州アジア大会では女子エペ団体で銅メダルを獲得するなど、今大会も注目の選手！
- ＜滋賀県選手団＞
成年男子の加藤響選手は、今年7月に開催されたFISUワールドユニバーシティゲームズ男子サーブル団体のメンバーとして銅メダルを獲得しています！
- ＜パリ五輪選手＞
成年男子の永野雄大選手と飯村一輝選手は、パリ五輪のフェンシング男子フルーレ団体に出場し、金メダルを獲得しています（日本の男子フルーレ団体にとって、2012年ロンドン五輪の銀メダル以来の快挙であり、初の金メダル獲得でした。
今大会もオリンピックの熱戦に注目です！

滋賀県広報課の注目ポイント

- パリ五輪の出場選手も多く出場する今大会。競技台（ピスト）の上で、片手で持った剣で相手の有効面を突く技や斬る技で勝敗を競います。勝負の判定には、剣に電気コードをつなぎ、相手の体を突くと、突いた側のランプが点灯する電気審判器を使用します。繊細なテクニック、スピーディーかつダイナミックな動きが見どころ！

フェンシング競技

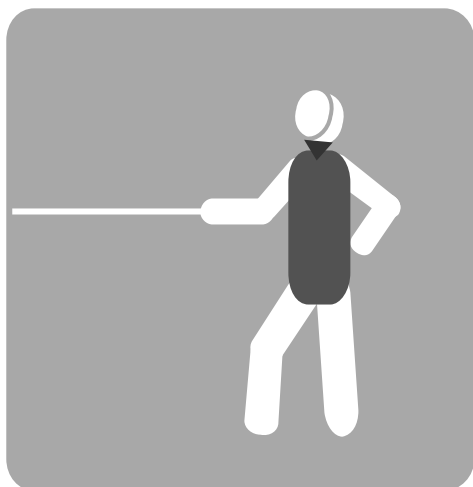
競技日程

会 議 名	日 時	場 所
技 術 委 員 会 会 議	9月28日(日) 14時00分	びわ湖大津プリンスホテル
審 判 会 議	9月28日(日) 15時00分	びわ湖大津プリンスホテル
監 督 会 議	9月28日(日) 16時00分	びわ湖大津プリンスホテル

月 日 会 場			第1日目 9月29日(月)	第2日目 9月30日(火)	第3日目 10月1日(水)	第4日目 10月2日(木)
ウカルちゃんアリーナ(滋賀県立体育館)	成年男子	フルーレ	1～2回戦 9:00～14:50	3回戦～決勝 9:00～11:50 表彰式 12:00～12:30		
		サーブル			1～2回戦 9:00～16:30	3回戦～決勝 9:00～12:00 表彰式・閉会式 13:00～13:50
	成年女子	フルーレ	1～2回戦 11:20～16:00	準々決勝～決勝 9:30～11:50 表彰式 12:00～12:30		
		エペ			1回戦 14:30～15:40	2回戦～決勝 9:00～12:00 表彰式・閉会式 13:00～13:50
	少年男子	フルーレ		1～2回戦 13:40～16:00	準々決勝～決勝 9:30～11:50 表彰式 12:00～12:30	
	少年女子	フルーレ		1～2回戦 12:30～16:00	準々決勝～決勝 9:00～11:50 表彰式 12:00～12:30	

総 合 表 彰 式 ・ 閉 会 式	10月2日(木)	13時00分	ウカルちゃんアリーナ(滋賀県立体育館)
-------------------	----------	--------	---------------------

F l e u r e t (フルーレ)



[剣の重さ]	500 g 以下]
[剣の全長]	110 cm 以下]
[ガードから剣先まで]	90 cm 以下]
[ガードの直径]	12 cm 以下]

剣先には500 gの強さのバネが入っていて、これ以上の力で突くとランプが点灯します。剣はしなやかで、昔、剣先に色のついたポイントをつけていたため、フランス人はこの種目を花(Fleure:フルール)にたとえたことから、「フルーレ」という名前が生まれました。

部分が有効面

フルーレは、3種目の競技のうち一番基本的となるもので、突きだけを用います。

昔、まだ剣術の練習に真剣を使っていた頃（マスクもなかった）、危険を避けるため約束事を決めました。それは、相手が攻撃をしてきたら、その剣を払ってからでなければ反撃してはいけないという決め事です。この練習のための技術がスポーツ化したものがフェンシングです。

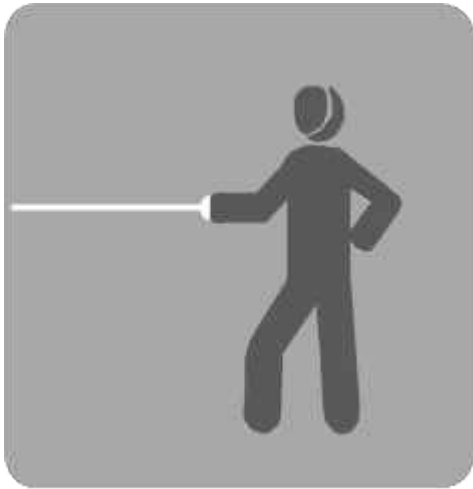
フルーレでは「攻撃をするためには、まず腕を伸ばす」ことから始まり「攻撃されれば、相手の剣を完全に払いのけて攻撃」をしなければなりません。この攻撃と反撃の剣と剣の渡り合いが、フルーレの最大の見どころといえるでしょう。

フランスでは、この剣と剣の攻防をPhrase d'arme: フラーズ・ダ・ルム（剣と剣の旋律）と表現するほどです。

フルーレには有効面と無効面があり、有効面は金属繊維で出来ているジャケットを着用した部分（頭・両足・両腕を除いた胴体部分すべて）とマスクの一部（ビブ）です。その部分を突くと突いた選手側の「赤」または「緑」の色ランプが点灯し、突いた選手の得点が入ります。無効面を突くと、「白」のランプが点灯します。

両方のランプがほとんど同じに点灯した場合などは、試合規則によってどちらかの攻撃が有効であったか、あるいは「同時攻撃」であったかを、主審が判定します。

E p e e (エペ)



全身が有効面

[剣の重さ]	770 g以下]
[剣の全長]	110 cm以下]
[ガードから剣先まで]	90 cm以下]
[ガードの直径]	13.5 cm以下]

剣先には750 gの強さのバネが入っていて、これ以上の力で突くとランプが点灯します。ラピエールという決闘用剣の流れを受け継ぎ、昔ながらの三角形の剣身を持った、風格のある形をしています。

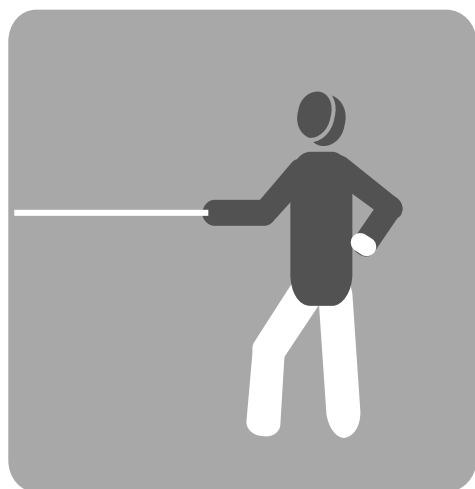
17世紀中頃、剣先で相手を突くだけの「エペ」という剣（術）が生まれました。それ以前は「ラピエール」という、「切って」も「突いて」もよい剣が使用されていました。エペの出現以来、急速に普及し、ラピエールにとって代わる剣術となりました。

エペは、正式の決闘武器として行われたものが競技化したもので、全身（頭から爪先）どこを突いても有効となり、色ランプがつき、突いた選手に得点が入ります。しかし、電気審判器の点灯する機能に1/25秒のタイム差がセットされていて、このタイム差以内で両選手が「同時突き（Coup Double:クードゥーブル）」をすると両方の色ランプが点灯し、両選手に1ポイントずつ得点が与えられます。

全身が有効面で、また1/25秒差以内の素早い突きが要求されるため、試合運びの中に両選手の張り詰めた気迫が感じられるところがみどころといえるでしょう。

西洋の決闘では、自分の名誉を守るために行うので、相手に血を流させたら終わりです。その時、自分も血を流したら相打ちになるので、エペには相打ちの判定があるのです。

S a b r e (サーブル)



部分が有効面

[剣の重さ]	500 g以下]
[剣の全長]	105 cm以下]
[ガードから剣先まで]	88 cm以下]
[ガードの直径]	縦15 cm以下] 横14 cm以下]
[ガードの深さ]	15 cm以下]

剣身は扁平で刃がついており、いわゆる「みね」の部分も剣先1/3が裏刃になっていて、その「刃」の部分で切れば有効となります。

サーブルは、他の2種目とは異なり、その昔、ウラル山脈地域の騎馬民族が行っていた剣術で、9世紀に今のハンガリーに根を降ろしました。フランス等西ヨーロッパ諸国ではあまり普及しませんでした。馬上の剣術として19世紀にイタリアにおいて、現在見られる形式が出来あがりました。

馬上で行う軍刀術がスポーツ化したもので、他の2種目と異なり切りが主体ですが、突きもできる競技です。従来は男子だけが行っていましたが、世界選手権大会でも女子の部が開催されるようになり、2001年全日本フェンシング選手権大会（高知大会）から正式に女子の部も行われています。

サーブルにも、有効面と無効面があります。有効面は選手の腰から上の部分で、頭・両腕も含まれます。これは、昔、戦いのときに相手の馬を傷つけることを避けるために、腰から下は攻めなかったことから来ています。

判定は、電気審判器を用いています。フルーレ同様細かな規則が決められているため、攻撃権の取り合い、防御の方法等が判定に影響します。

サーブルのおもしろさは、激しい動き、そして豪快な切り合いにあります。

フェンシング用語

一般的なことがら

1 エスクリム

フランス語でフェンシングのこと。

フェンシングでは、フランス語が公用語として使用されており、近年、英語、スペイン語も公用語に加わりました。

2 プール

リーグ形式の総当たり戦のこと。

3 マッチ

2選手間の対戦で記録を取る場合、マッチと言います。

4 ランコントロール

異なるチームの選手間による対戦(チーム・マッチ)をランコントロールと言います。

5 ピスト

競技用コートのこと。大会では8ピストが設置されます。(幅1.5m～2.0m、長さ14m、予備ゾーン4mを入れて計18mのピストが多い)

6 エリミナション・ディレクト

トーナメント形式の試合のこと。

7 ファイナル

決勝戦のこと。

8 ディレクトワール・テクニーク (DT)

技術委員会のこと。

競技を実際に運営していく上での最高機関で、大会では技術委員の合議によって、試合の組合せ、競技の進行、審判員の指名、ルール上の事、ルール以外の問題などが決定されます。

9 プレジダン・ド・ジュリー

主審のこと。

主審は、マッチの前に選手の武器・服装・用具や審判器等を検査します。そして、マッチを指揮し、選手に違反があれば罰し、またマッチをフルール・エペ・サーブルそれぞれのルールに従って判定し、トウシュを与えます。最後にマッチの勝敗を決めます

10 アセスール

副審のこと。

決勝戦においては、主審だけでなく2名の副審が義務付けられています。武器を持っていない手や腕の使用、正当な有効面の代用、ピストの側面や後方への踏み出し、エペで床上にて得点したトウシュ、又は競技規則に規定されているその他の違反を監視します。

11 略称

V「勝ち(ビクトワール)」、D「負け(デフェット)」、TD「突数(突いた数。トウシュ・ドネ)」、TR「被突数(突かれた数。トウシュ・ルウス)」

12 バラージュ

上位進出者を決めるための決定戦のこと。

試合の中での主審の言葉について

1 サリュウ

「挨拶せよ」という意味で、選手は試合の前後に相手以外に審判、観客席の方向に剣で挨拶をすることが義務付けられています。

2 アン・ガルド

試合を始めるとき主審は「アン・ガルド」(構えて)と号令をかけます。そのあと、「プレ？」(用意はいいか?)と聞きます。それに対して選手は「ウィ(はい)」か「ノン(いいえ)」の返答をします。選手から「ウィ」の返答があるかノンの返答がない限り、主審は「アレ」と言います。意味は「始め」です。また、試合を止めるときに、主審は「アルト」と言います。意味は「止め」です。

3 トウシュ

「突き」という意味です。突きを受けた選手側に手でトウシュ(以前はトウシェ)を示します。

4 ノン

トウシュが無いこと。

5 ポアン

得点を挙げた選手側の手を上にあげて1得点を示します。

6 ノン・ヴァラブル

「無効面」の意味で、例えばフルーレで突きが無効面に入ると白ランプがつき、得点にはならず、その後の全ての突きが無効になります。

7 アタック・シミュルタネー

双方の選手が「同時に攻撃した」という意味で、フルーレとサーブルの場合は、双方に色ランプがついても得点にはなりません。ただし、エペの場合は「クー・ドゥブル」(同時突き)と言って、双方に1点ずつ得点が加算されます。

8 クー・ドゥブル

「同時にトウシュした」という意味でフルーレ、サーブルではルールに基づいてどちらに優先権があるか判定します。エペでは双方に1点ずつ得点が加算されます。

9 リニュー

フルーレ・サーブルでポアンが相手の有効面を脅かしている状態。攻撃者が攻撃する時はあらかじめ相手の剣を排除してから始めなければなりません。以前はポアント・アン・リニュー、その前はアン・リニューといっていました。

10 パド・トウシュ

「両者に得点になるトウシュがないこと」を意味します。

11 シェル・ラ・プレパレーション

アタック側の準備動作中になされた相手のアタックやアレの動作。審判は腕を曲げた動作で(以前のノン・コレクト)表します。

12 コル・ア・コル

「身体と身体が接触した」という意味で、フルーレ・サーブルでは、試合を止めなければなりません。また、暴力や乱暴な行為がなければ、違反にも罰則にもなりません。

13 パラード

相手の攻撃を剣で防御すること。その後の動作を無効にするためには腕を引くことなく、直ちに行わねばなりません。

14 リポスト

パラードに次ぐ攻撃のこと。

15 アヴァン・タレ

「始めの合図の前に起こした動作」という意味で、たとえトウシュが入ったとしても得点にはならず、無効になります。

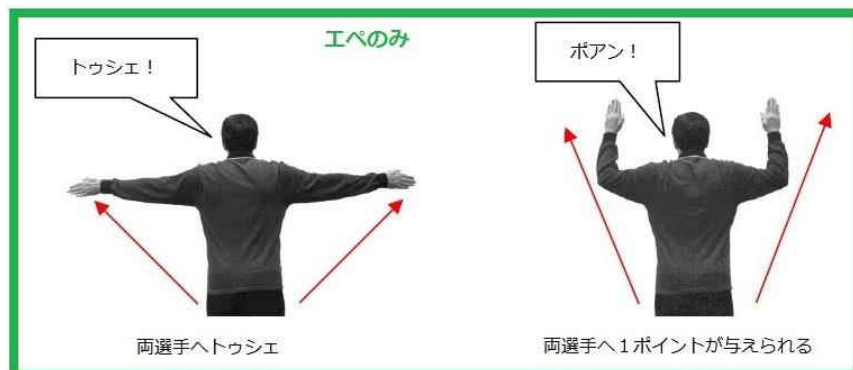
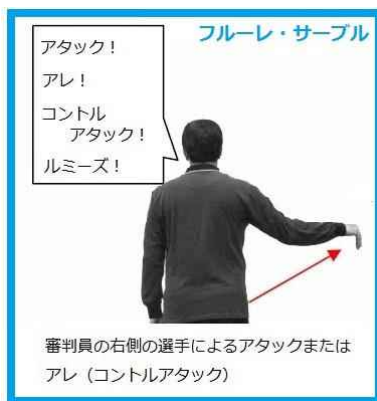
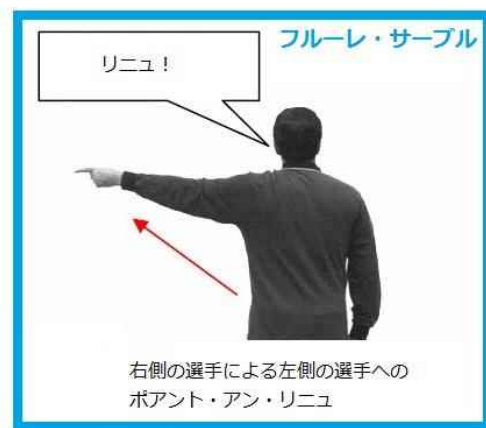
16 アプレ・アルト

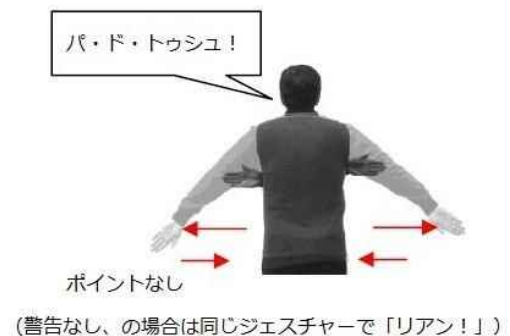
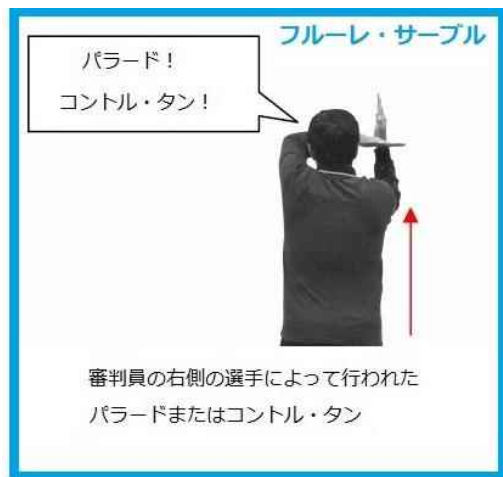
「止めの合図の後に起こした動作」という意味で、たとえトウシュが入ったとしても得点にはならず、無効になります。

17 ヴァンカー

「勝利者」という意味で、試合が終了すると審判が勝利した方の選手に向けて、手を挙げてヴァンカーと勝利者を決定しスコアを言います。

審判員のジェスチャーと号令



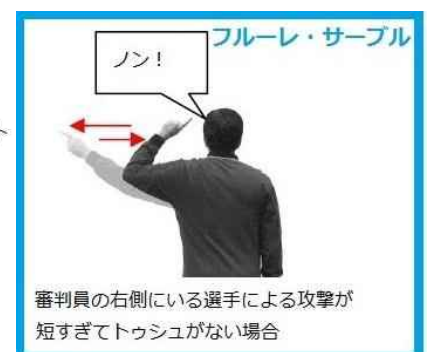


カルトン・ジョンヌ: アヴェルティスマン
カルトン・ルーシュ: ユヌ・トゥシュ・コントロール
カルトン・ノワール: エクスクルージョン



イエローカード: 警告
レッドカード: 相手に1ポイント
ブラックカード: 退場

審判員が出すカードの色は右側の選手による違反を示し、
それに対応する罰則の内容を提示する



勝者: マッチまたはランコントロールの終了に際し、
審判員は勝者の名前とスコアを言う。
選手はピストの中央に留まる。

注記:

- (1) 審判員はフラーズ・ダルムを分析し、上記のジェスチャーと用語で判定を告げる。
- (2) フラーズ・ダルムに従い、審判員はジェスチャーを伴わずに「リポスト」「コントロール・リポスト」の用語を使用する。「アタック」のジェスチャーは「ルミーズ」「ルプリーズ」「ルドゥルブマン」にも使用する。
- (3) 選手は審判員に対し礼儀正しい態度で、フラーズ・ダルムのより完全な分析を求めることができる。
- (4) 各ジェスチャーは一定時間 (1 秒~2 秒) 持続され、かつ正確に行われなければならない。ここで示されているジェスチャーは審判員の右側にいる選手を対象としている。